

子どもと遊ぶ

～子どもと一緒に体験してみよう～

【プログラムのねらい】

子どもにとって遊びは大切な学習です。遊びを通して、人とかかわる力を身に付けていきます。このプログラムでは子どもの遊びについて考え、子どもとのふれあい遊びを通して、子どもとのコミュニケーションがより楽しくなる遊び方を学習します。

【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

| | ○進め方 ◎ことばがけ | 留 意 点 |
|-----------|---|---|
| 導入 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介をします。 ○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。 ○自己紹介やゲーム、手遊びを行い、明るく活動的な雰囲気づくりをします。 | <ul style="list-style-type: none"> ○明るく元気な話し方を心がけます。 ○遊びを体験しながら主体的に学ぶ参加型のプログラムであることを伝えます。 ○ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。 ○ゲームなどが終了するまでに、次の活動にスムーズに移れるようにグルーピングしておきます。 ○1グループにつき4人か6人とします。この後のペアでのふれあい遊びのために、なるべく偶数人数の編成にします。 ○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。 |
| 展開 40分 | <ul style="list-style-type: none"> ○「ワーク1」の活動を説明します。 ◎資料1、資料2を見て、気付いたことや感想を記入しましょう。 ◎遊び時間としては2時間という回答が多く、遊び相手として母親が多いようです。実際にはどのように遊ぶことが多いのでしょうか？グループで意見交換してみましょう。 ○「ワーク2」の活動を説明します。 ○指導者が遊び方について実践してみます。 ○指導者と一緒に実践してみます。 ○グループごとに遊びを体験します。 | <ul style="list-style-type: none"> ○かたく考えず、走り書き程度のメモでよいことを伝えます。 ○兄弟姉妹の存在、祖父母の保育への参加傾向、友だちとの遊び方など、具体的にどのようなことが背景にあるか考えられるよう、質問をします。 ○参加者一人に手伝ってもらい、ふれあい遊びの仕方を模範演技します。 ○グループでペアをつくり、実際にふれあい遊びを行います。 ○ハンカチやバスタオル、人形などグループの数だけ事前に用意しておきます。 |

| | | |
|--------------------|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ○各グループを回り、参加者の様子や感想を把握しておきます。 ○事故には十分気を付けて行うように話します。 |
| <p>まとめ 10分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◎今日の学習のまとめをしましょう。 ○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。 ○発表してもらいます。 | <ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。 ○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。 ○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。 ○手引に掲載されている遊びを紹介して、参加者のふれあい遊びへの意欲を高めて終わりにします。 |

※ 設定時間が短い場合には、ワーク2を中心に流れを考えるようにします。

資料1

<はちが刺した>

いーちがさした にーがさした
 さーんがさした よーんがさした
 ごーがさした ろーくがさした
 しーちがさした はちがさした
 ぶんぶんぶんぶん ぶんぶんぶんぶん

資料2

<えんやら桃の木>

えんやらもーものき もーもがなったら
 だれにやろ ○○ちゃんの マー マに あーげよ

資料3

おふねはぎっちらこ

子どもを膝にのせ、向かい合って座り、音楽に合わせて前後に揺れて遊びます。0歳児は大人と1歳半を過ぎたらお友達同士で、音楽に合わせて、手をつないで、船に乗っているように、ゆらゆらと前後に揺れて遊びましょう。前後ができるようになったら、左右や斜めに揺らしながら遊びましょう。また、大きな波に揺られて大きく、小さな波に揺られて小さくと変化をつけて遊んでください。

わらべうた



資料4

やおやのつねこさん

たたいたり、つねったり、くすぐったりと親子のスキンシップをはかるのにとてもよい遊びです。「やおや」を別のお店にしたり、「つねこさん」を子どもの名前にして遊んでみましょう。

わらべうた



遊び方 子どもと向かい合って座って遊びます。

やおやの
子どもの手の甲を手でさすります。



かいだん のぼって
人差し指と中指で子どもの指先から腕、肩とのぼっていきます。



つねこさんが
軽く、手の甲をつまみます。



こちょこちょこちょ
脇の下をくすぐります。

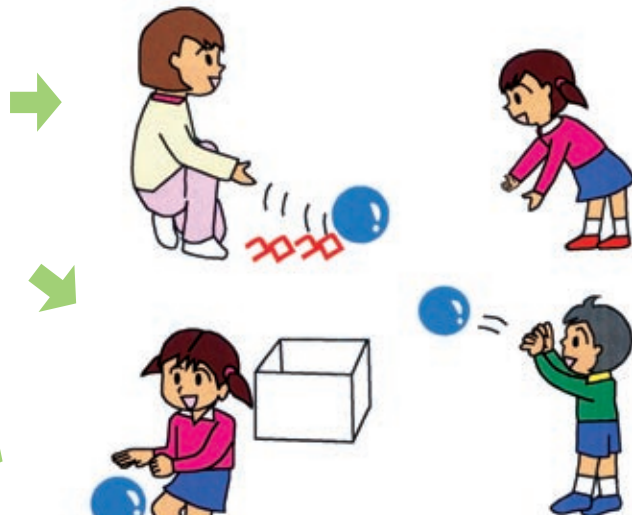


(資料3、4は株式会社フレーベル館『0・1・2歳児の赤ちゃんHOIKU実技シリーズ3、みんななかよしスキンシップあそび・歌あそび』鈴木みゆき編著から)

資料 5

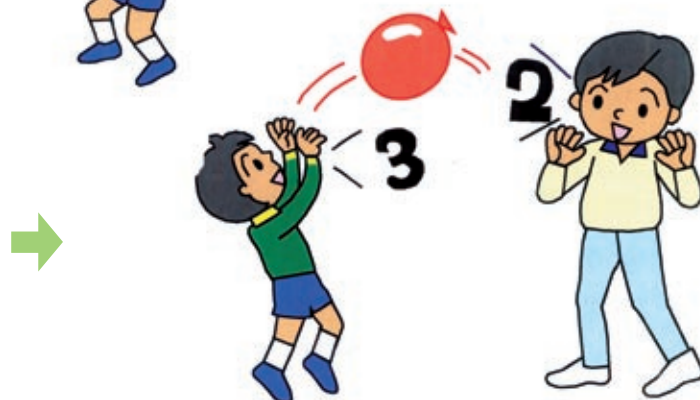
ボールであそぼう（なげる・とる）

- はじめはボールをころがし、とらせてみましょう。
- 時々、違う方向へころがしてみましょ。
- ダンボール箱等を置いて「箱の中に入れてみよう」と投げて遊ぶのもよいでしょう。
- ボールに慣れてきたら投げたり受けたり、まりつきなどをして楽しみましょ。
- さらに、上から投げたり、バウンドさせたりして楽しみましょ。



○ボールをよく見て、手のひらでボールをはさむようにしてとります。

- ゴムふうせんや紙ふうせんをふくらませて、交互に打たせてみましょ。数をかぞえ、どれだけ長くつづけられるかチャレンジするのよいでしょう。



★ワンポイントアドバイス

- ボールは子どもの頭ぐらいの大きさで、柔らかいものがよいでしょう。布袋に古布を入れてボール代わりにすると受け取りやすいでしょう。
- ボールを受け取るのは思ったよりむずかしいです。最初は近くから、少しずつ遠くへと離れてみましょ。

（埼玉県教育委員会『彩の国 体づくりチャレンジプログラム キッズチャレンジ』から）